



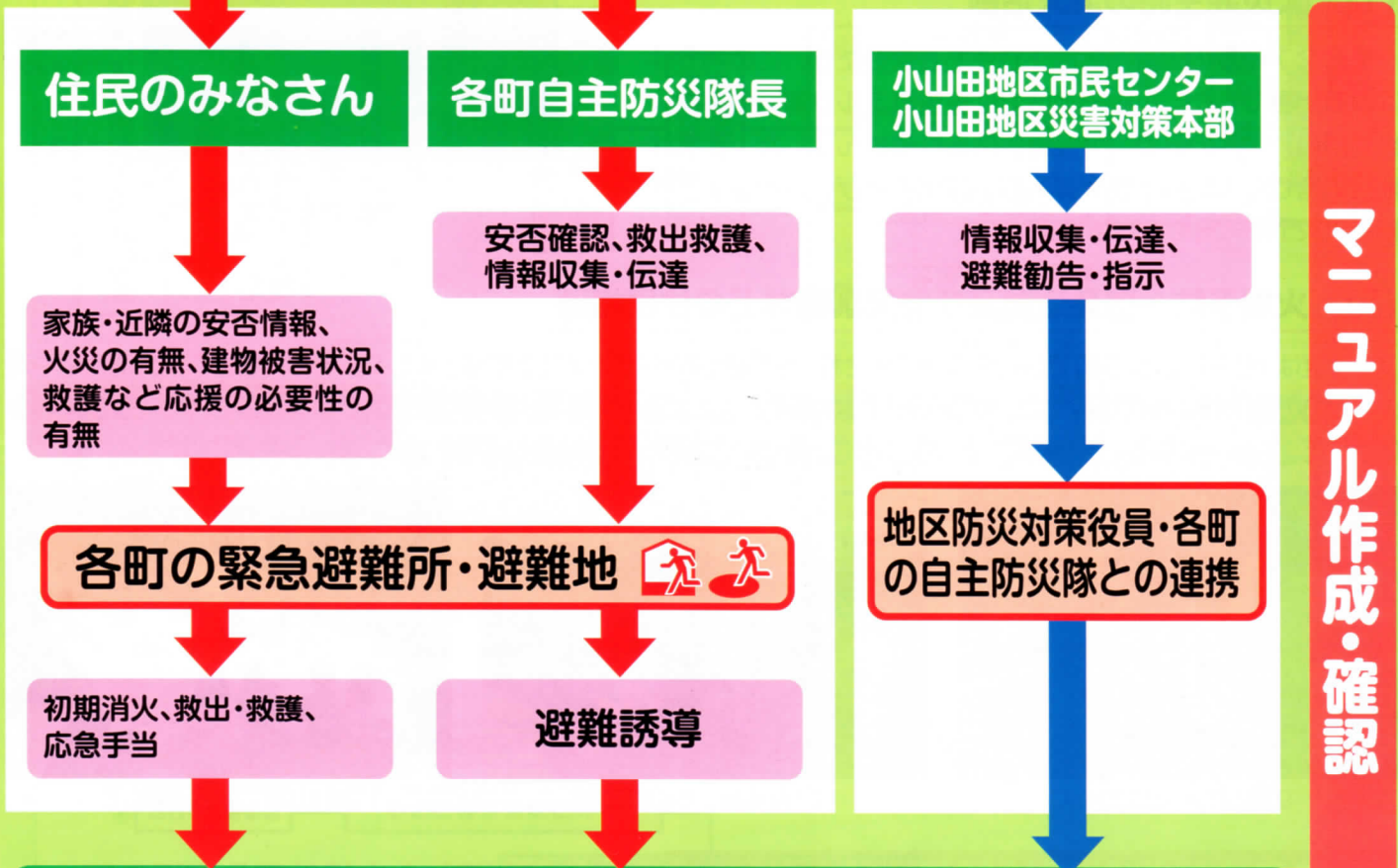
ぼうさい おやまだ

第 12 号

【発行・問い合わせ先】
小山田地区防災連絡協議会
小山田地区団体事務局
山田町 1373 番地 3
☎・Fax (059) 328-3320

小山田地区防災 みんなのつながりで 安心安全を

大災害が発生したら(震度5以上の地震発生)



マニュアル作成・確認

指定避難所開設

施設管理者(小山田地区市民センター館長・小山田小学校校長・西陵中学校校長)・行政・小山田地区防災対策本部で安全確認後開設

災害対策本部・避難所運営マニュアルを作成しました。

一部を抜粋して、7ページに記載しましたのでご参照ください。
いざという時には地区住民のみなさん一人一人の協力が必要です。
防災意識を高め、みんなで力を合わせて優れた防災・減災で安心安全なまちづくりをして行きましょう！



小山田消防分団の活躍

早くも東日本大震災から5年、阪神淡路大震災から21年が過ぎました。

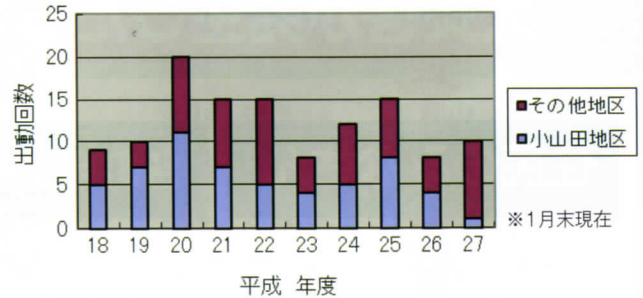
この間にも全国各地で台風・地震・噴火・大雪・大雨・竜巻等の大きな規模の自然災害が多く発生し、甚大な被害を受けているところがあります。小山田地区は幸いにも特に大きな被害の発生は無く、平成27年度は火災の発生も0件でした。しかし四日市市は東海・東南海・南海地震の3連動地震の発生が危ぶまれている地域です。そのため小山田消防分団は、『自分達の町は自分たちで守る』をコンセプトに、住民一人一人の防災意識の向上をはかるため日々の啓発や防災訓練にも力を入れ、現場での活動に臨んでいます。

消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

平成27年度の火災出動は10件ありましたが、この内5件は誤報出動でした。小山田地区では美里町ミルク道路の車両火災(誤報)1件のみで、火災発生はありませんでした。これは地区の皆さんの火災予防意識高揚の成果ですが、油断せず引き続き火災予防に努めましょう。

火災の出動回数



(2) 火災予防・啓発活動及び防災訓練などの住民指導

今年度は小山田地区全9町で防災訓練が実施され、小山田消防分団は7町で指導しました。その内容は、消火器使用や消火栓からの放水による初期消火の必要性に対応したもの、また東海・東南海・南海地震を危惧した災害対応の体験訓練が主体でした。訓練は参加者全員が積極的に体験することを勧めており、訓練を重ねる毎に身について来た様に感じられます。



9月27日 山田町にて



11月8日 小山町にて



11月15日 堂ヶ山町にて

四日市市消防操法競技大会

7月19日(日) 中央緑地芝生広場にて

恒例の四日市市消防分団対抗の競技大会です。梅雨時並びに真夏の悪条件の中、また仕事後の疲れの中、「今年こそ初優勝」を合言葉に選手たちは約1ヶ月間、汗水垂らし真剣に夜間・休日練習に励みました。大会当日には熱い応援を頂きましたが、残念ながら今年も優勝を逃しました。しかし皆さん、これからも次年度の初優勝に向かって支援応援していきましょう。



競技出場精鋭メンバー



消防出初式

平成28年1月10日(日) 四日市ドームにて

観光大使お笑いコンビ「ザブングル」の加藤歩さん(四日市市出身)を一日消防署長に迎え、四日市市消防出初式が挙行されました。「消防車の分列行進」「式典」「はしご乗り演技・幼稚園児の踊り」「一斉放水」等が行われ、消防車の分列行進では小山田分団車の子ども隊長として平尾途浩団員の長女ララちゃんに乗車し、四日市市長、消防士長、伊藤忠夫消防団長の観閲を受けました。

クライマックスのヘリコプターと消防艇や消防車の一斉放水は見事でした。皆さんも一度四日市ドームの出初式に足を運んでみて下さい。小さいお子様連れも大歓迎です。ドーム外では模擬店も開かれ、消防設備の見学や体験ができ、消防に関して楽しく沢山学ぶことができます。

式典では下記の小山田分団員が表彰されました。

三重県消防協会長賞 表彰徽章(勤続5年)	加藤 誠 団員 矢田 英高 団員
三重県消防協会北勢支会長表彰 表彰徽章(勤続3年)	伊藤 正也 団員 後藤 勝壽 団員
四日市市長表彰 感謝状(退団者)	伊藤 正美 団員 矢田 恵 団員



消防団員の募集

皆さんも地域を守る活動をしてみませんか?
小山田消防分団員として現在22名の方が活躍しています。
小山田地区在住、または勤務している18歳以上で健康な方であれば男女を問わず、どなたでも入団して頂けます。

興味関心のある方、また友達どうしても構いませんので誘い合って応募してみませんか?
入団を待っています!!



消防団についてのお問い合わせは

小山田地区防災連絡協議会
(団体事務局)へ
電話 059(328)3320





我が町の防災訓練

今年度は福祉避難所になっている青山里会と小山田地区全9町の合計10か所で防災訓練が行われました。

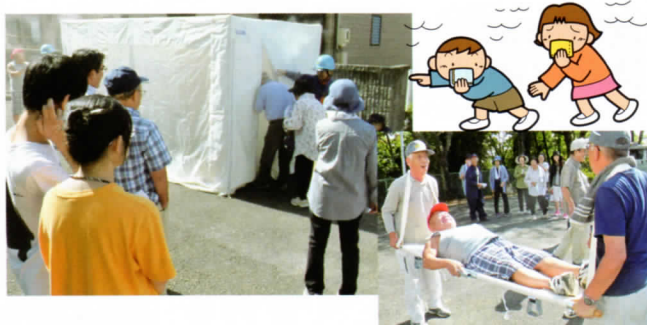
青山里会防災訓練 平成27年8月31日(月) 小山田地区市民センター及び青山里会

指定避難所である小山田地区市民センターに避難してきたけが人や病人を福祉避難所の青山里会に搬送し、手当てをする訓練をしました。



鹿間町防災訓練 平成27年9月5日(土) 鹿間町構造改善センター

今年度は新たに煙体験を取り入れました。炎天下、鹿間町自主防災隊と小山田消防分団員の指導で、参加者60名が3班に分かれ、多種多様な訓練が行なわれました。



内山町防災訓練 平成27年9月27日(日) 内山町第二集会所

内山町は土砂くずれや天白川の氾濫による災害が起きやすい地形をしています。四日市市役所危機管理室の職員による出前講座では、一人一人の防災意識を高め、災害に備える重要性を学びました。これからも『自分の身は自分で守る』という意識をしっかりとって訓練しましょう。



山田町防災訓練 平成27年9月27日(日) 山田町高若センター

子どもたちも大勢参加して、天ぷら火災の消火訓練、水消火器を使った初期消火訓練、アルファ米を利用した炊き出し訓練、AEDを使った応急処置訓練、煙体験などが行われました。





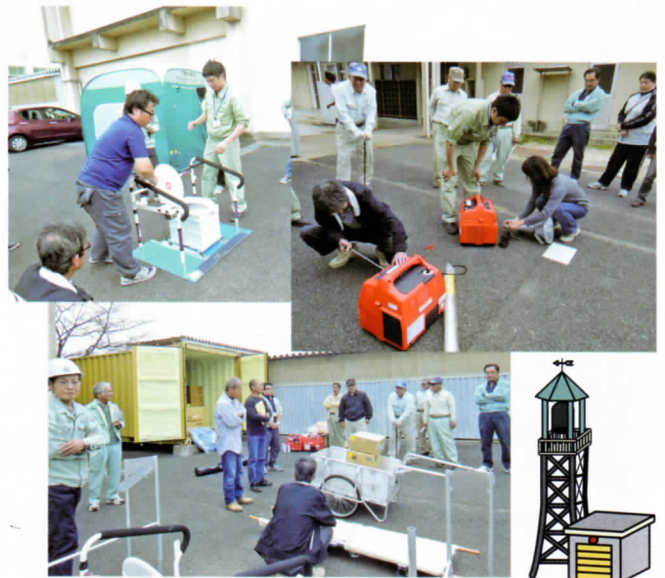
美里町防災訓練 平成27年10月3日(土) 美里町内とヤマギシさん太陽の広場

ヤマギシさんの防災担当の方の指導で、消火栓の確認、消火器を使った初期消火訓練と放水訓練が行われました。この地区は毎年このように企業と地域が一体となって防災訓練を行っています。企業との連携はこの地域の住民にとってとても心強く安心安全な暮らしには重要だと思います。



西山町防災訓練 平成27年10月10日(土) 西陵中学校防災倉庫周辺

危機管理室職員の指導で、防災倉庫内の資機材の確認・点検とそれぞれの取扱い方法の説明を受けました。発電機も慣れない手つきで悪戦苦闘。簡易トイレやリヤカーの組み立てや片付けも数人で協力し合わないと大変でした。やってみないとなかなか上手くできませんね。



小山町防災訓練 平成27年11月8日(日) 小山町公会所

大雨の中、大変な訓練でしたが、小山田消防分団員の指導で三重県環境保全事業団の協力も受け、初期消火訓練・放水訓練・AEDを使用した救急救命訓練・炊き出し訓練など数多くの訓練をてきぱきとこなしました。危機管理室による出前講座では過去の災害を知り、防災意識を高めることが出来ました。



堂ヶ山町防災訓練 平成27年11月15日(日) 堂ヶ山町構造改善センター

小山田消防分団員の指導で、消火器を使った初期消火訓練・震度7の地震体験・AEDを使用した救急救命訓練を行いました。消防子ども服を着た沢山の子どもたちも放水疑似訓練に参加してくれました。



和無田町防災訓練 平成27年11月22日(日)
和無田町構造改善センター

小山田消防分団員の指導を受け、初期消火訓練・煙体験・放水訓練・救急救命訓練を行ないました。三角巾を使った訓練では結び方から悪戦苦闘する光景も見られました。



六名町防災訓練 平成28年1月17日(日)
六名町集会所

凍てつくような寒い時期の訓練にもかかわらず、多くの方が早朝より訓練に参加してくれました。子どもたちもAEDの使い方を真剣に聞いて実践に取り組んでいました。



大震災が起こったとき、自分が安全な場所にいるとは限りません。自分はもちろん大切な家族の命を守るために、明日にも起こりうる大地震や大災害を想定して、これからも防災訓練や防災研修に参加し、知識・関心を高めながら、防災・災害対策に強い小山田地区にしましょう。

H27年6月18日 防災講座より

小山田地区に必要な防災対策は・・・

- ・南海トラフ地震等の地震に備える
 - ⇒家具の固定、住宅の耐震化(昭和56年6月以前に建設された住宅等)⇒市の補助あり
 - ⇒小山田地区では津波被害は出ないが、仕事等で市内沿岸部に行く場合は、職場が津波の浸水区域なのか等を四日市市津波防災マップで確認し、どこに逃げるのか決めておく。
- ・台風等の風水害に備える
 - ⇒台風等の際はなるべく外に出ない。浸水の危険性は少なくとも、強風による被害は起こる。
 - 正確な情報入手し、避難判断を。



女性や災害弱者に対して配慮したい事項

避難所で配慮したい基本的な項目を挙げておきます。

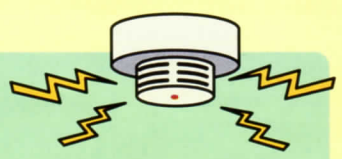
- ① 場所決め(早い者勝ちではなく、災害弱者を優先)
- ② 歩きやすい通路をあける(通路の確保:田の字型配列が最適)
- ③ 視覚障害の方は、壁沿いにトイレへ行ける場所に
- ④ 聴覚障害の方には、筆談用具を(筆記用具や用紙、ホワイトボード&ペンなど)
- ⑤ 女性へのプライバシー配慮(脱衣所、男女別々のトイレ等)
- ⑥ 子供のおむつ交換所や授乳所の確保

家族や地域の人たちとよく話し合って、事前に準備しておきましょう！

今からできることも沢山あります。



家具の固定、避難場所・避難経路の確認、持ち出しグッズの常備、消火器の常備・点検、防災訓練等の参加、住宅用火災警報器の設置(平成18年6月1日より義務付けされています。)



日頃から、電池等の点検と手入れをしっかりとやりましょう!!



平成27年度 防災・防火標語の入選作



今年度は総数398作の応募があり、素晴らしい標語を考えて頂きました。たくさんのご応募ありがとうございました。優秀作品のみ掲載しましたのでご了承ください。皆さんの防災の意識を少しでも高めて頂き、災害ゼロの町にするために今後も防災標語による啓発に取り組んでいきます。

「いつか来る その時にそなえて ボウサイクンレン」	山田 梓沙さん	小山田小2年
「火のかくにん かぞくみんなで みなおそう」	大槻 美結さん	小山田小2年
「防災訓練 大事な命を守るもと」	三村 衣緒里さん	小山田小4年
「命を守るため・みんなでしようよ・防災訓練」	小泉 来夢さん	小山田小4年
「いつおこる? いつおこるかは 分からない だから参加 防災訓練」	坂口 茉央さん	小山田小5年
「火をつけた あなたの責任 消火まで」	伊坂 陸さん	小山田小6年
「決めておこう 家族で集まる 避難場所」	平山 竣也さん	西陵中 1年
「日頃からの ご近所付き合い あなたの命を 救うかも」	委文 優衣さん	西陵中 1年
「防災訓練 一回一回 大切に」	安藤 光海さん	西陵中 2年
「助け合おう 自分の生命 ^{いのち} とみんなの生命 ^{いのち} 」	鎌田 将太郎さん	西陵中 2年
「防災訓練 本気で取りくめ 助かる手段」	堤 琴音さん	西陵中 3年
「明日かもしれない “もしも”のために高めておこう 防災意識」	松本 星那さん	西陵中 3年
「火の恐さ 歴史も未来も 焼きつくす」	古市 美代子さん	一般

わが家の非常連絡メモ

緊急連絡先

火事・救急	119
警察	110
災害伝言ダイヤル	171
小山田地区市民センター	328-1001
小山田警察官駐在所	328-1148

病院

総合医療センター	345-2321
市立四日市病院	354-1111

電気

中電四日市営業所	☎0120-985-340
中電鈴鹿営業所	☎0120-985-342

水道

四日市市上下水道局	351-1211
-----------	----------

AED設置場所

小山田地区市民センター	328-1001
小山田小学校	328-1093
西陵中学校	328-1013

災害伝言ダイヤルの利用方法

※171をダイヤルしたら、音声案内に従って操作するだけです!

伝言を録音するには

※音声案内に従う
171をダイヤル ⇒ 1 ⇒ 録音は

伝言を聞くには

※音声案内に従う
171をダイヤル ⇒ 2 ⇒ 再生は

音声案内に従って、
録音・再生
連絡をとりたい人の電話番号を
市外局番からダイヤルする。

各家庭・家族の集合場所・家族の連絡先など
